

** 2005年 4月改訂（第 5 版）

* 2003年 2月改訂

日本標準商品分類番号

8 7 3 1 3 6

補酵素型ビタミンB₁₂剤

ハイコバル[®] カプセル500 μ g **Hycobal**[®]
コバミド製剤

〔貯 法〕 室温保存

開封後は光を遮り保存すること（光によりコバミド
が分解し含量が低下する。）

〔使用期限〕 外箱又はラベルに表示の使用期限内に使用すること。

承認番号	42A-267
薬価収載	1976年 9月
販売開始	1976年 9月
再評価結果	1976年 4月

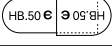
*【組成・性状】

* 1 組成

本剤は、1 カプセル中にコバミド500 μ gを含有する赤色
と橙色の硬カプセル剤である。

添加物として黄色 5 号、結晶セルロース、青色 1 号、赤色
3 号、トウモロコシデンプン、ラウリル硫酸ナトリウムを
含有する。

2 製剤の性状

販売名	剤形 識別コード	外 形	性 状
ハイコバル カプセル 500 μ g	硬カプセル HB.50 €	 全長(mm)・重量(mg)・号数 14.5 170 4号	カプセル 上半分：赤色 下半分：橙色 内容物 わずかに紅色の粉末

【効能・効果】

1. ビタミン B₁₂ 欠乏症の予防及び治療

2. ビタミン B₁₂ の需要が増大し、食事からの摂取が不十分 な際の補給（消耗性疾患、甲状腺機能亢進症、妊 産婦、授乳婦等）

3. 巨赤芽球性貧血

4. 広節裂頭条虫症

5. 悪性貧血に伴う神経障害

6. 吸収不全症候群（スプルー等）

以上 3 項～ 6 項の効能・効果及び胃切除後の貧血に
対して用いる場合、経口投与によると吸収が悪いの
でやむを得ぬ場合以外は注射によることが望ましい。

7. 下記疾患のうち、ビタミン B₁₂ の欠乏又は代謝障害が 関与すると推定される場合

(1) 栄養性及び妊娠性貧血

(2) 胃切除後の貧血

(3) 肝障害に伴う貧血

(4) 放射線による白血球減少症

(5) 神経痛

(6) 末梢神経炎、末梢神経麻痺

(7) 筋肉痛、関節痛

(8) 中枢神経障害（脊髄炎、変性疾患等）

7 項の効能・効果に対して、効果が無いのに月余に
わたって漫然と使用すべきでない。

【用法・用量】

通常成人はコバミドとして、1 日 1,500 μ g（3 カプセル）
までを 1～3 回に分けて経口投与する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる
調査を実施していない。

	頻度不明
過敏症	発疹

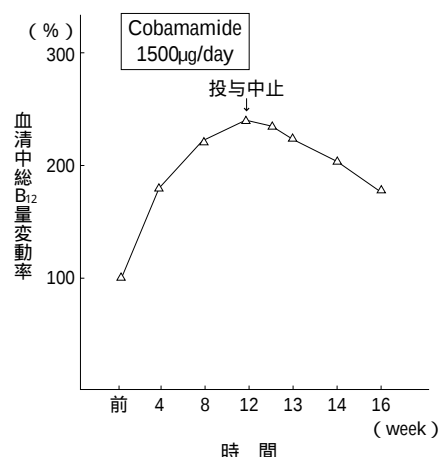
2 適用上の注意

薬剤交付時

PTP 包装の薬剤は PTP シートから取り出して服用す
るよう指導すること。（PTP シートの誤飲により、硬
い鋭角部が食道粘膜に刺入し、更には穿孔をおこし
て縦隔洞炎等の重篤な合併症を併発することが報告
されている）

【薬物動態】

健康成人男子 5 名に、本剤 3 カプセル（コバミドとして
1,500 μ g）を 12 週間反復経口投与し、投与中止後 4 週間の血
清中総 B₁₂ 量の変動率を検討した。12 週間反復投与後には投
与前値の約 2.3 倍に上昇し、投与中止 4 週間後も投与前値の
約 1.8 倍を示した。（①）



【臨床成績】

本剤は、ビタミン B₁₂ 欠乏又は代謝障害の推定される各種
疾患に応用されている。

肝障害に伴う貧血患者に対して本剤を経口投与したところ、
2 週目から赤血球数が増加し、貧血の改善が認められた。

（②）

また、妊娠性貧血に対して本剤を鉄剤とともに経口投与し
たところ、血色素量が増加した。（③）

【薬効薬理】

1 神経再生を促進

ウサギの坐骨神経の実験的神経障害モデルで神経細胞内
RNA 蓄積に促進的に働き、電気生理学的検討において神
経再生を促進する。（④）

2 ヘムの合成を促進し、貧血の血液像を改善

ビタミン B₁₂ 欠乏によって、特異な巨赤芽球性貧血が出現
することはよく知られている。コバミドはメチルマロ
ニルイソメラーゼの補酵素として働き、メチルマロニル
CoA をサクシニル CoA へ変換することによりヘム合成の
前段階に関与する。サクシニル CoA は δ -アミノレブリン
酸となり、ヘムの合成の出発物質となる。悪性貧血患者
の骨髓細胞のミトコンドリア分画にコバミドを加えると
 δ -アミノレブリン酸の合成が高まる。（⑤⑥）

（裏面につづく）

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：コバミド（Cobamamide）

化学名：5, 6-dimethylbenzimidazolyl-5'-

deoxyadenosylcobamide

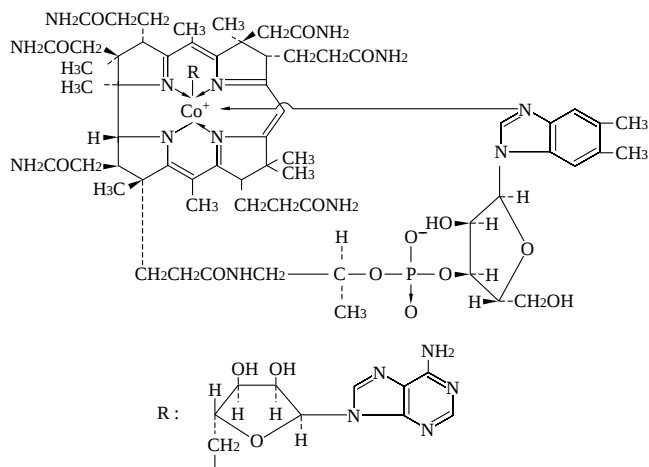
（別名）5, 6-dimethylbenzimidazolylcobamide

coenzyme(DBCC)

分子式：C₇₂H₁₀₀CoN₁₈O₁₇P

分子量：1579.60

構造式：



物理化学的性状：

コバミドは暗赤色の結晶又は結晶性あるいは無晶性の粉末である。本品は水にやや溶けやすく、エタノール（95）に極めて溶けにくく、アセトン、ジエチルエーテル又はクロロホルムにほとんど溶けない。

本品は極めて吸湿性で光により分解する。

*【包装】

ハイコパール カプセル 500 μ g100カプセル(PTP)

【主要文献】

文献請求番号

- ① 田中信夫ら：ビタミン， 55， 155（1981）MBL-0267
- ② 太田康幸ら：診療， 20， 727（1967）HBL-0005
- ③ 橋本武次ら：周産期医学， 2， 240（1972）HBL-0006
- ④ 中沢恒幸ら：ビタミン， 34， 576（1966）HBL-0012
- ⑤ 高久史磨：血液疾患の生化学（南山堂）
14（1970）HBL-0004
- ⑥ 中尾喜久ら：診療， 20， 666（1967）HBL-0013

【文献請求先】

エーザイ株式会社 安全管理部 FAX 03(3811)2710
〒112-8088 東京都文京区小石川 5 - 5 - 5

【商品情報お問い合わせ先】

エーザイ株式会社 お客様ホットライン室 ☎0120(419)497

** 製造販売元



D37405-9

エーザイ株式会社
東京都文京区小石川4-6-10

CODE DI-T-HB107